



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 本州化学工業株式会社

コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 良幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和智 達也

TEL 03-3272-1482

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,674	△10.2	504	17.0	505	13.4	298	13.6
25年3月期第1四半期	4,091	△13.0	431	△55.5	445	△53.5	262	△56.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 500百万円 (880.4%) 25年3月期第1四半期 51百万円 (△91.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.97	—
25年3月期第1四半期	22.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,948	14,045	55.1	1,100.60
25年3月期	19,861	13,660	62.2	1,076.57

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,634百万円 25年3月期 12,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	17,900	15.7	1,400	92.9	1,350	89.1	750	117.9	65.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	11,500,000 株	25年3月期	11,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	20,292 株	25年3月期	19,442 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	11,480,301 株	25年3月期1Q	11,481,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）における経済環境は、わが国経済が金融緩和を始めとした各種の経済政策に対する期待感から、円安・株価上昇基調で推移し景気回復への動きがみられましたが、一方で中国等の新興国における経済成長の減速化や欧州債務危機問題など海外経済の下振れ懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く当第1四半期連結累計期間の事業環境は、原材料費の上昇により収益が圧迫される中で、当社主力製品と関連の深いIT関連機器・デジタル家電分野において薄型テレビやパソコン等の需要が依然として低調のまま推移したことなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のなかで、当社グループは、収益の改善と向上を図るため、主力製品の拡販と新規製品・新規用途の開発促進に傾注するとともに、和歌山工場の合理化を始めとした経営全般にわたるコスト競争力の強化に全力を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、売上高は3,674百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益は504百万円（同17.0%増）、経常利益は505百万円（同13.4%増）、四半期純利益は298百万円（同13.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出されております。

当第1四半期連結累計期間においては、前年同四半期に比べ、販売数量が若干減少したものの、原料価格の値上がりや為替変動の影響等により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・その他のクレゾール誘導品

前年同四半期においては、三井化学株式会社の爆発・火災事故によりクレゾール誘導品の主原料であるメタパラクレゾールの供給が停止したことに伴い、当社のユーザーは、当社に対し、在庫確保を目的とした出荷要請を行ってきたため、当社は、これに応えるべく、メタクレゾールや精製BHT等について在庫の放出を含め出荷を行ったことから、前年同四半期における販売数量は例年に比べ大幅に増加しました。また、当第1四半期連結累計期間においては、これらの製品の需要が低迷し販売が不調であったため、当第1四半期連結累計期間における「その他のクレゾール誘導品」全体の売上高は、上記の特殊要因により大幅に販売数量が増加した前年同四半期を大きく下回ることとなりました。

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

前年同四半期においては、ユーザーサイドでの大幅な生産・在庫調整により需要が大きく減退しましたが、当第1四半期連結累計期間においては、本格的な需要回復には至らないまでも、前年同四半期にみられたユーザーサイドでの大幅な生産・在庫調整が行われなかったことから、販売数量が大幅に増加することとなったため、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や粉体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、積層板等の電子材料向け用途において需要が伸び悩んだものの、土木・建設材料用途向けの需要が堅調であったため、販売は総じて順調に推移し、また、一部輸出については第2四半期連結会計期間（平成25年7月～9月）の出荷分を当第1四半期連結累計期間に前倒して行ったことから、販売数量が大幅に増加することとなったため、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は1,632百万円（前年同四半期比12.2%減）、総売上高に占める割合は44.4%となり、セグメント利益は312百万円（同237.5%増）となりました。

<機能材料>

・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

フォトレジストの需要先であるIT関連機器やデジタル家電分野では、薄型テレビやパソコン等の需要が当第1四半期連結累計期間においても依然として低調であったため、当社のフォトレジスト材料は、半導体用及びLCD用のいずれも販売数量が大幅に減少することとなり、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

・感光性ポリイミド材料

感光性ポリイミド材料は、半導体素子の表面保護膜に使用される感光性ポリイミド樹脂向けの材料であり、従来品の添加剤のほか、新規用途向けとして開発した感光性ポリイミド樹脂用原料は、ユーザーのニーズに応えた高付加価値商品として、今後の需要拡大がおおいに期待されております。

当第1四半期連結累計期間における感光性ポリイミド材料（添加剤向け）の販売は、世代交代の影響により引き続き低調のまま推移したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを用いた樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ビスフェノールは、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

特殊ビスフェノールの需要は引き続き電子部品用途向けを中心に堅調に推移しておりますが、当社ユーザーの購入計画に基づき一部製品の販売時期が第2四半期連結会計期間（平成25年7月～9月）以降となっているため、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、672百万円（前年同四半期比19.2%減）、総売上高に占める割合は18.3%となり、セグメント利益は139百万円（同41.3%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車用部品向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売されており、当第1四半期連結累計期間においては、引き続き需要が堅調に推移するとともに、為替変動の影響により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・受託品

受託数量が減少したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料部門の売上高は、1,332百万円（前年同四半期比2.0%減）、総売上高に占める割合は36.3%となり、セグメント利益は248百万円（同4.4%減）となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は37百万円（前年同四半期比6.7%減）、総売上高に占める割合は1.0%となり、セグメント利益は13百万円（同10.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,086百万円増加し、22,948百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加（1,262百万円）、売掛金の減少（△353百万円）、商品及び製品の増加（1,055百万円）等により、前連結会計年度末に比べて2,064百万円増加し、12,072百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少（△262百万円）、建設仮勘定の増加（1,297百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,021百万円増加し、10,875百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（1,204百万円）、未払法人税等の増加（111百万円）、長期借入金の増加（864百万円）等により、前連結会計年度末と比べて2,701百万円増加し、8,902百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（183百万円）、為替換算調整勘定の増加（101百万円）等により、前連結会計年度末に比べ384百万円増加し、14,045百万円となりました。

この結果、自己資本比率は55.1%となり、前連結会計年度末に比べて7.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表しました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,090	3,353
売掛金	3,986	3,632
商品及び製品	2,595	3,651
仕掛品	289	307
原材料及び貯蔵品	619	686
その他	427	441
流動資産合計	10,008	12,072
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	4,539	4,276
建設仮勘定	2,442	3,740
その他（純額）	2,177	2,182
有形固定資産合計	9,159	10,198
無形固定資産	14	9
投資その他の資産	679	666
固定資産合計	9,853	10,875
資産合計	19,861	22,948
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289	2,494
短期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	73	185
役員賞与引当金	16	4
その他	1,124	1,685
流動負債合計	3,504	5,369
固定負債		
長期借入金	1,448	2,313
退職給付引当金	1,089	1,092
役員退職慰労引当金	79	40
その他	78	87
固定負債合計	2,696	3,533
負債合計	6,201	8,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	9,866	10,049
自己株式	△11	△12
株主資本合計	12,367	12,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	22
為替換算調整勘定	△40	61
その他の包括利益累計額合計	△8	83
少数株主持分	1,300	1,410
純資産合計	13,660	14,045
負債純資産合計	19,861	22,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4,091	3,674
売上原価	3,223	2,711
売上総利益	867	963
販売費及び一般管理費	435	458
営業利益	431	504
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	2
為替差益	—	1
スクラップ売却益	1	1
その他	2	1
営業外収益合計	26	7
営業外費用		
支払利息	7	4
その他	5	1
営業外費用合計	12	6
経常利益	445	505
税金等調整前四半期純利益	445	505
法人税等	150	181
少数株主損益調整前四半期純利益	295	324
少数株主利益	33	25
四半期純利益	262	298

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△9
為替換算調整勘定	△238	185
その他の包括利益合計	△244	176
四半期包括利益	51	500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124	390
少数株主に係る四半期包括利益	△73	109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,859	832	1,359	4,051	39	4,091	—	4,091
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,859	832	1,359	4,051	39	4,091	—	4,091
セグメント利益	92	236	260	589	12	601	△170	431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△170百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△170百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,632	672	1,332	3,637	37	3,674	—	3,674
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,632	672	1,332	3,637	37	3,674	—	3,674
セグメント利益	312	139	248	699	13	713	△208	504

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△208百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△208百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。